

2024年度 定期総会開催

「くらしと平和」を守るために奮闘奮闘

千代田区職労 退職者会 ニュース

第2024-5号
24年6月30日
編集委員会
3221-0052



6月7日(金)午後、小石川後樂園内の涵徳亭にて、2024年度の退職者会定期総会を開催しました。

総会では、活動報告、会計報告、会計監査報告を承認し、活動方針、予算、役員を決定しました。

総会には、都退協、千代田区職労、労金一ツ橋支店、住宅生協から祝辞や激励をいただきました。

総会後は懇親会が催され、近況や日ごろの思いなどを語り合いながら、楽しいひと時を過ごしました。

総会に先立って、後楽園内を散策し見ごろを迎えていた花菖蒲を観賞した人もいました。

2024年度退職者会役員

- 会 長 藤本 佳男 (新)
- 副会 長 櫻井 和恵 (新)
- 〃 西本 優 (再)
- 〃 城直ゆう子 (新)
- 事務局 長 服部 明 (再)
- 事務局 次 長 (欠員)
- 会 計 西本由起子 (再)
- 常任幹 事 小路 啓子 (再)
- 〃 近藤 次子 (再)
- 〃 吉本 茂喜 (再)
- 〃 寺山 光秀 (再)
- 〃 町田 信弘 (新)
- 会計監 事 河西 治彦 (再)
- 〃 平山 茂 (再)
- 顧 問 水上 末二 (再)
- 〃 山岸 哲夫 (再)
- 〃 渡辺 卓治 (再)
- 相 談 役 留場 正光

今年度の活動方針案では、高齢者にますます厳しくなる状況に対し、これまで退職者会が掲げ続けてがんばってきた「暮らしと平和を守る」と

会計報告・提案も了承され、役員の新任も決定し、新しい年度の活動のスタートを切りました。参加者は総勢18人でした。

活動報告では、コロナ禍で停滞せざるを得なかった会活動が、昨年度にはほぼ復活できたことが報告されました。

りくみを軸に、ひるまずにとりくみを強めることが確認されました。

区職労の留場委員長は、退職者会に負けないよう頑張ると決意を述べ、退職者会のオールドパワーが逆に元気づけていくようでした。

来賓の都退協副会長の米谷さんは、「ピンピンキラリ」で退職者会を盛り上げていくと激励され、元気づけていただきました。

退職者会は ピンピンキラリで

癒しのイベント開催を

近藤 次子

私はこのたびの総会で、幹事に選出されて3年目を迎えます。コロナ感染も弱まっていますが、ひきつづき感染予防を図りながら、また物価高騰にもめげずに、心身ともに癒せるひと時を共有できるイベントや学習会等の開催ができれば、と思っています。

幹事会の勉強会では、どの新聞を読むよりも、最近の社会情勢や世の中の事を学ぶ場になっていると思います。退職者会のニュースの発送作業をしていますと、こまごま準備をしてくださっている編集の方々のご苦勞、また会員の皆さまがこのニュースを読まれて、どのように思い感じていらっしゃるか、お聴ききできる日がくるのが楽しみです。これからもよろしくお願いします。



幹事退任にあたって

橋本 泉

このたびの総会をもって退任することになりました。2018年4月から6年間の短い期間にもかかわらず、退任のあいさつのスペースをいただくのはなんとも申し訳ない思いですが、けじめということで一言ご挨拶申し上げます。

再任用を終えたところに、幹事にならないかとお誘いを受け、区職労の執行委員や児童館分会に関わってきた私としては断る理由もなく、「はい」と即答でした。

月1回の幹事会では、高齢者を取り巻く状況についての報告はとても勉強になり、おかしいと思う国の動きに声をあげる行動に積極的に参加していく退職者会は、机上だけでない信頼できる存在でした。また、退職者会のみなさんが交流できるイベントの担当になったときは、どこへ行こうかといういろいろ考え実施するのはとても楽しかったですが、多くの方に参加してもらい難しさも感じました。

今後も社会の動きに関心を持ち、場所はどこであれ何かを発信し行動することは続けていきたいと思っています。皆さん、お世話になりました。ありがとうございました。

再任された幹事の一人として

吉本 茂喜

退職者会幹事に再任されました。また一年宜しくお願い致します。再任と言ってもここ数年腰痛のため家にもりがちで、心身のリハビリ・トレーニングを兼ねて定例の幹事会に足を運ぶだけの状態でしたので、かえって足手まといになっていないか心配ですが。

病は気からと言います、もう少し積極的にならなくては治る腰痛も悪化してしまいます。と思いつつ、減量し体調を整えています。

できれば行きそびれていた趣味の城巡りを再開できればと思っています。山城には熊さんが待っていないか心配ですが・・・

厳しさを増す高齢者の暮らし

西本 優

6月から振り込まれる年金額が引き上げられました。退職者会ニユースでもお知らせしてきたように2・7%の引き上げて、物価変動率3・2%にも賃金変動率3・1%にも及ばない目減り改定です。マクロ経済スライドによる0・4%減のしかかっています。

健康保険料、介護保険料 値上げ

多くの自治体で6月に通知される国民健康保険や介護保険の改定がこれに追い打ちをかけてきます。5月14日に厚生労働省が65歳以上の高齢者の介護保険料を標準月額で平均3・5%引き上げると発表していました。自治体によつてはさらに引き上げ幅が増加します。最も引き上げ幅が大きかったのは長野県天龍村の50%。ちなみに流山市は5・1%増となりました。国民健康保険料も昨年を上回る自治体で引き上げられます。東京都内では62区市町村



6月からは政府の物価高騰対策補助金終了による電気料金の値上げも大きな負担増となります。6月5日、改定子育て支援法が成立しました。必要とされる3・6兆円の財源を、既定予算の活用、徹底した歳出「改革」、医療保険制度に上乗せ徴収する支援金制度でまかなうとしており、医療・介護の給付削減に伴う利用者負担の増加や支援金制度の導入による医療保険料への上乗せが2026年度から始まります。

訪問介護が困難に

岸田政権が4月の介護報酬改定で訪問費を引き下げたことで訪問介護事業所の経営がますます困難になっていることも、在宅介護を必要とする高齢者やその家族の不安となつていきます。報道によれば5年間で8648カ所もの訪問介護事業所が廃止されていたことが明らかになりました。こうした中、6月5日の衆院厚生労働委員会では、訪問介護報酬引き下げ撤回・再改定を求める運動の広がりを受けて、「介護障害福祉事業者の処遇改善に関する決議」を全会一致で議決するという異例の事態も起きています。

軍事費削って暮しに

24年度予算で岸田政権が聖域としている軍事費は約8兆円です。軍事でなく暮らしに予算を充てさせ、介護保険の国庫負担割合を増やし、保険料・利用料の軽減、介護報酬の抜本的引き上げを実現させなければなりません。

1面の総会特集のつづき



千代田区職労退職者会
2023年度会計監査報告

1 監査実施日	2024年5月24日(金) 午後 時~
2 監査実施場所	千代田区職労事務所
3 監査対象期間	2023年4月1日~2024年3月31日
4 監査対象書類	会計帳簿、収支証拠書類、預貯金通帳、現金、他
5 監査結果	上記により、厳正に監査した結果、会計処理が適正に行われていることが認められた。

以上のとおり報告します。

2024年6月7日

会計監事 河西治彦

会計監事 平山 茂

この会計監査報告書は、総会当日に配付したもので、議案書には入っていません。

総会議案書を同封しました

方針等で(案)となつているものはすべて決定済です。また「活動報告」に左記の文章を追加しました。同封の議案書に、ぜひ目を通してください。

「3 活動報告」の追加

昨年10月に5年ぶり3回目の会員の「生活状況調査」を行いました。この調査は、①会員の生活状況から、一人暮らしなどの居住実態や生活環境などを把握し、今後の会活動の参考にします。②会員の趣味や活動サークルなどを知ることにより、会活動に生かしてもらえよう方途を考える。③前回(5年前)結果と比較して会員の生活状況の変化をつかみ、今後の会活動の参考にすると、といった目的で実施しているものです。結果とその分析は資料1の通りですが、会員の生活状況は厳しさを増していることが伺えます。この調査を今後の活動に生かしていきます。

電気料金

打ち切った補助金を再び復活

物価高にあえぐ庶民の暮らしをしり目に、電気料金の補助を打ち切った岸田政権が、突然記者会見で「猛暑乗り切り緊急支援」との名目で補助金の復活を発表しました。物価高騰のさ中に補助を打ち切るといふ冷たい仕打ちに、内閣支持率も10%台に落ち込むという国民の怒りを目の当たりにし、慌てた岸田首相が独断で発表したとの見方がもつぱらです。記者会見で知ったという経産省は大慌て、という報道もあります。もつと冷やかな見方もあります。それは、期間を8月~10月の三か月に限つてのことです。暑い夏の消費電力料金の軽減を図るなら、暑い7月を外して涼しくなる10月までとしたのはなぜか?という疑問です。そしてそれは、この秋に行われる自民党総裁選で自らに有利な状況を作ろうとしているからだ、との指摘があります。いずれにしても、熱中症対策も含めて日中は家に居ることの多い私たちが高齢者には、夏の電気料金の負担は大きなものがあります。自らの延命のためでなく、物価高騰にあえぐ国民のために有効な施策を打ってもらいたいです。



千代田区職労が取り組んだ「前進座」歌舞伎公演に、退職者会も宣伝に一役買ってきましたが、観劇した城直さんから手記が寄せられました。

世界初の女性歌舞伎 前進座公演を観てきました 城直 ゆう子

池袋のブリリアホールでの歌舞伎公演ということで5月17日観劇してきました。池袋のブリリアホールも初めて行く劇場なので、事前に

経路をネット検索し、方向音痴の私ですが迷うことなく無事到着。それだけでも感激的なのに、席は舞台向かって右はじではありましたが前から6列目でオペラグラス不要の近さ、前の列には数人の着物姿の女性陣が「ごきげんよう」などとあいさつしながら着席する様子に、観劇前なのにワクワク、テンションマックス状態。互助会チケットで歌舞伎を見て以来の久々の高尚な古典芸能観劇になりました。

この日の演目は歌舞伎十八番の内「鳴神」、「口上」そして今回の目玉である「舞踊雪祭五人三番叟」です。踊り手はもちろん女優、女性後見・女流義太夫・女流囃子方、舞台上には女性のみという（踊り手が女性というのは以前4回ほど前進座で公演したそうです）世界初の画期的な企画ということで、リズムカルな太鼓、笛のお囃子や、つややかなよくとおる義太夫の声、小筒、三味線の音色、そしてだんだんと迫力の増す踊り、ラスト雪が降りしきる中、跳ねたり跳んだり縦横無尽に舞う五人が女性ということをおぼえてしまうくらい、圧巻の舞台でした。30分近くあった「雪祭五人三番叟」ですが、雪が降りしきる光景が今でも胸に焼き付いていて、また見てみたいという思いになりました。

前進座では毎年五月歌舞伎を国立劇場で上演していたそうですが、建て替え計画により国立劇場が閉鎖中のため、この東京ブリリアホールでの公演になったそうです。伝統芸能もできる大劇場ということですが、やはり歌舞伎独自の舞台道具等の持ち込みなど、公演に至るまでの計画準備、舞台稽古等苦勞がしのべられます。国立劇場建て替え計画が資材高騰のため頓挫して進まず、伝統芸能の公演場所確保が困難である中でも、「口上」で「女性だけが上がる歌舞伎」を今回限りではなく「各年でも続けてやっていきたい」と藤川前進座座長の言葉にあったので、来年以降の前進座公演を楽しみにしたいと思います。

6月の「19日行動」

党首討論での 岸田首相の発言に批判が集中

6月19日、暮なずむ空に満月が輝きだした頃、国会正門前には大勢が集まり集会が始まりました。沖繩の風、立憲民主、社民、共産の各党の代表は、この日行われた岸田首相との党首討論の模様を怒りを込めて報告しました。とくに、首相が憲法改定に執着する姿勢に終始したことを、どの党も厳しく批判しました。憲法に「緊急事態条項」を設け、緊急事態が発せられた際は多くの権限を政府に集中し、国会議員の任期も

延長する、といった内容を盛り込むとういものです。「裏金疑惑の自民党議員たちが、緊急事態を理由に選挙しないで延命を図ることができる民主主義否定の暴挙だ」「国民が求めている疑惑解明はやらす、国民が今求めでもない憲法改定には異常な執念を燃やす、こんな国民不在の政治は変えなければ」「憲法を守る正念場を迎えている」といった発言が相次ぎました。次回は7月19日です。



国会議事堂正門前で行われた6月の「19日行動」

近況や日頃の思いを語りあう

櫻井 和恵

総会後の 懇親会の様子

懇親会は楽しみの場

渡辺 富子

総会後には、今年で3回目となる涵徳亭での懇親会が行われました。庭園の新緑の美しさを感じながら、和やかに楽しいひと時を過ごしました。

来賓の都退協米谷さんから、退職者会ニュースに触れられ、担当者からニュース作成の苦勞話なども話されました。また山歩きが趣味の方からは百名山を完登されたのお話があり、お元気に活動されていることに会場から拍手が起きました。

地球温暖化について、入区した50年前と比べるとCO2の排出量が倍になっている、効果のある対策が急務、とのおはなしでもました。

食事をしながらの短い時間でしたが、参加した皆様の近況や日頃の思いを語りあい交流しました。



総会が滞りなく終わり少し間をおいて懇親会でした。松花堂弁当とほんの少しのアルコールがみんなの心をほぐしてくれたので、おしゃべりがすすみました。

30代から登山をしていたというYさんが若かりし頃の登山の写真を見せてくれたり、Jさんは掃除機をかけていたらテレワーク中の娘に「うるさい」と言われてしまった、Iさんは孫がかわいい、HさんはCO2の話、退職者会の過去の取り組みの写真を持参してくれた人もいました。弁当からちくわが飛び出るといふ芸当もあって、とても楽しいひとときでした。来年はもっとたくさんの人が参加してくれたらうれしいです。

小石川後樂園の花菖蒲



長谷川町子記念館・美術館

～日本初の女性プロ漫画家～

漫画家・長谷川

町子(1920年～1996年)は、佐賀県多久市に生まれました。生後間もなく福岡県に移り住み幼少期を過ごしましたが、13歳の時に父が亡くなり、家族とともに東京へ引っ越してきます。漫画が大好きだった町子は、母のすすめで「のらくろ」などで有名な田河水埕氏に弟子入り、そこで才能を認められ15歳で漫画家デビューしました。

約半世紀にわたり「サザエさん」をはじめとする数多くの作品を生み出し、漫画のみならずイラストレーターやデザイナーとしても多岐にわたり活動していました。

平成4年5月に72年の生涯を閉じ、同年没後の7月に国民栄誉賞を受賞しました。

桜新町駅周辺には「サザエさん銅像」が点在しています。美術館の隣に通称「サザエさん公園」もあり、子供連れでも楽しめます。

【長谷川町子記念館】

2020年、長谷川町子生誕百年を迎え、美術館分館として新たに記念館を開館。1階常設展示室[町子の作品]は、長谷川町子の代表作である「サザエさん」「エプロンおばさん」「いじわるばあさん」の世界観をデジタルとアナログの双方から体験できます。

2階常設展示室[町子の生涯]では、幼年期から没後までの貴重な写真や原画などさまざまな資料、仕事道具や趣味で制作した陶芸作品を展示しています。

◆ 企画展「長谷川町子のデザイン」◆

2024年4月6日(土)～7月21日(日)

※ただし、7月15日は開館、7月16(火)は休館、7月22日～8月2日展示替えのため休館。

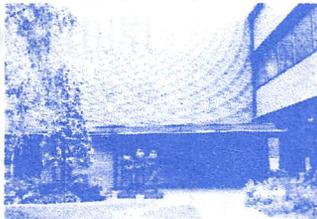
※ 2階企画展示室

◆ 企画展「町子が描く家族のかたち」(仮称)◆

2024年8月3日(土)～11月24日(日)

※ただし、8月12日(月)9月23日(月)10月14日(月)11月4日(月)は開館、8月13日(火)9月24日(火)10月15日(火)11月5日(火)は休館。

※ 2階企画展示室



【長谷川町子美術館】

昭和60年東京・世田谷区桜新町に「長谷川美術館」を設立。

町子没後の平成4年11月に「長谷川美術館」から「長谷川町子美術館」に名称を変更しました。美術館では、町子と姉の穂子が収集してきた美術品と漫画原画などを展示公開しています。

◆ 展覧会 収蔵コレクション展「人物を描く」◆

2024年4月6日(土)～7月21日(日)

シャガール、ピカソ、藤田嗣治、岸田劉生などさまざまな画家による人物表現とモデルとの関係性や心情までもが読み取れる作品を当館収蔵作品の中から選りすぐって展示。

※ただし、7月15日は開館、7月16(火)は休館、7月22日～8月2日展示替えのため休館

◆ 展覧会 アニメサザエさん展 ◆

2024年8月3日(土)～11月24日(日)

※ただし、8月12日(月)9月23日(月)10月14日(月)11月4日(月)は開館、8月13日(火)9月24日(火)10月15日(火)11月5日(火)は休館。



所在地：東京都世田谷区桜新町1-30-6

開館時間：午前10時～午後5時30分
(受付締切 午後4時30分)

休館日：月曜日(祝日の場合はその翌日)、展示替期間、年末年始

入館料：一般900円(800円)、65歳以上800円(700円) 大学生・高校生500円(400円) 中学生・小学生400円(300円)

※ ()内は20名以上の団体、障害者手帳をお持ちの方とその介護者

※ 入館チケットは、長谷川町子美術館にて発売。美術館・記念館の両館をご覧ください。

交通：■東急田園都市線「桜新町駅」下車徒歩約10分

■東急バス「目黒駅←→鶴巻営業所」(黒07)

または「都立大学駅北口←→鶴巻営業所」(都立01)

いずれも「桜新町1丁目」下車徒歩約1分

駐車場：なし(障害者用を除く)

問合せ先：一般財団法人 長谷川町子美術館

TEL03-3701-8766

URL : <https://www.hasegawamachiko.jp/>



漢字合体・熟語作り

A～Eそれぞれに並ぶ文字は、漢字の一部を示しています。[例]を参考にして、漢字を組み合わせて二字熟語を作ってください。例 竹+角+合+刀+牛=解答

A 耳 + 未 + 又 + 口 + 走 =

B 人 + 曾 + 十 + 一 + 一 =

C 言 + 木 + 火 + 目 + 火 =

D 一 + 人 + 走 + 己 + 口 =

E 力 + 重 + 口 + 厶 + 女 =

年金生活者の定額減税
年金は所得ですから、定額減税は年金受給者も対象です。所得税は6月徴収分より合計3万円が減税されます。6月分で引き切れない場合は8月以降も継続されます。住民税は10月徴収分より合計1万円減税され、引き切れない場合は12月以降も継続されます。本来は、このような一時しのぎの施策ではなく、年金額の引き上げと消費税減税を実現したいものです。